

〔E類多文化共生教育コース 対象〕

## 小論文 解答例

令和4年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

I

## 問1 縁

## 問2

「なぜ」という問いに突き動かされる人間は、万人に納得をもたらすことのできる物語を受け入れることで苦難の意味を了解し、窮境を乗り越えていく力を得ることができるから。

〔解答のポイント〕

・「苦難の意味を了解し、窮境を乗り越えていく力」や「問うこと自体に終止符を打つ」など、物語が人間の「なぜ」から生まれる苦しみを軽減させ、解放する力を持つことに言及されているかがポイント

## 問3

〔解答のポイント〕

・「どのようにして」は科学的思考、「なぜ」は実存的な妖術的思考であるという対立として表現されているか。

・災難や苦悩の只中にある人にとって、「なぜ」という問いはどのような物語であっても答えることができないため、「なぜ」に突き動かされながらも「どのようにして」という地平からの問いをも継続的に投げかけ続けることになる。このような「なぜ」と「どのようにして」の併存状態が明確に描かれているか。

〔E類多文化共生教育コース 対象〕

## 小論文 解答例

令和4年度
一般選抜前期
私費外国人
帰国生

## II

問

下線部 (B) 「測り知れないような深い痛切な体験」に対する共感力をもって、アイデンティティとは、あれかこれかという二項対立ではなく、可変的なものであり、一定の状況や環境下における他称の要素と自発の要素が拮抗したり折衷したりするものではないか、という文章の記述に対する理解を問う。また「イギリス人、アメリカ人、インディアン」すべてを超えていくアイデンティティのありかたへの想像力が解答中に発揮されているかどうかを問う。